

給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書（記載例）

※異動があった場合は、速やかに提出してください。

異動届出書を瑞穂町に提出する日を記入。

異動があった納税者の氏名（フリガナ）を記入。

3 納税者氏名が異動した場合は、前年度から異動した日（1月1日）から異動した日（1月1日）までの間に瑞穂町に提出してください。また、前年度から異動した日（1月1日）から異動した日（1月1日）までの間に瑞穂町に提出してください。また、前年度から異動した日（1月1日）から異動した日（1月1日）までの間に瑞穂町に提出してください。

瑞穂町長 様 ××年××月××日提出		住所(居所)又は所在地 〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3 フリガナ カブシキガイシャ マルバツジョウジ 氏名又は名称 株式会社 ○×商事 代表者の職氏名印 代表取締役 特徴 太郎 個人番号又は法人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度 ※市町村処理欄 特別徴収義務者指定番号 87229900 整理番号 1234 課・係 人事課 人事労務係 氏名 特徴 花子 電話 000-000-0000 (内線 123) 連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号 異動の事由 1. 退職 2. 転勤 3. 合併 4. 休職 5. 長期欠勤 6. 死亡 7. 会社解散 8. 住所変更 9. その他(特別徴収不可) 異動後の未徴収税額の徴収 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収(1月以降は必須) 3. 普通徴収(月分で納入) 退職した年の1月1日から退職時までの給与支払額 1,200,000 円 控除社会保険料額 60,000 円	
給与所得者 受給者番号 123456 フリガナ 氏名 鈴木 一郎 (旧姓) 生年月日 昭和・平成 50年1月1日 個人番号 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1月1日現在の住所 ○○県××市△△3-2-1 給与の支払を受けなくなった後の住所		(ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000 円 (イ) 徴収済額 35,600 円 (ウ) 未徴収税額(ア)-(イ) 104,400 円 異動年月日 ××年××月××日		一括徴収の理由 1. 異動が令和××年12月31日までで、申出があったため(×月×日申出) 2. 異動が令和××年1月1日以後で、特別徴収の継続の希望がないため 8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。 (ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分) (イ) 徴収済額 35,600円(6月から8月分) (ウ) 未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分) ↑ 普通徴収税額	
◎転勤(転職)等による特別徴収届出書 新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。) 新しい勤務先の住所(居所)又は所在地 〒 フリガナ 氏名又は名称 代表者の職氏名印		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号 課・係 氏名 電話 (内線) 新しい勤務先では 月割額 円を 月分から徴収し、納入します。 受給者番号 納入書 要・不要		※市町村記入欄 特別徴収税額通知書の個人別明細書に記載された合計年税額を記入。 新規のときは、要・不要どちらかを○で囲む。	

すでに瑞穂町の指定番号をもっている場合は、その番号を記入する。

転勤などにより新しい勤務先へ行かれる場合はその名称、所在地、電話番号等を記入する。その場合月割額を連絡されている時はその月割額と徴収する月を必ず記入する。

必ず瑞穂町の指定番号を記入する。

特別徴収出来なくなった事由の番号を○で囲む。

異動後の徴収方法の番号を○で囲む。

退職時の給与又は退職金から一括して徴収して納付する場合記入。

年税額から徴収済額を差し引いた残額を記入。(ア)-(イ)=(ウ)

徴収していただいた月割額の合計額。

特別徴収税額通知書の個人別明細書に記載された合計年税額を記入。

新規のときは、要・不要どちらかを○で囲む。